

**「津山自分ごと化会議」からの4つの提案
～プール施設のあり方について～**

2020年2月6日

「津山自分ごと化会議」委員一同

目次：

1. はじめに	2P
2. 津山自分ごと化会議の概要	3P
3. 「津山自分ごと化会議」からの4つの提案	4P
4. 付録：アンケート結果	13P

～ はじめに ～

私たちは2019年11月から2020年1月まで、4回にわたって「津山自分ごと化会議」の委員として、「プール施設のあり方」について話し合ってきました。この提案書は、これまでの議論を4項目の提案にまとめたものです。

この会議の大きな特徴は、住民基本台帳から無作為に選ばれた市民が議論したことだと思います。従来、プールについて考える会議であれば、プールをよく使う人や専門的な知識を持っている人だけの場が多かったと思いますが、今回の委員の中には、プールをよく使う人だけでなく、以前は使っていたけれど今はあまり使わない人や学校の水泳授業以来、一度も利用していない人など様々でした。

そのような多様な市民が集まる中で、初めのうちは何を話せばよいのか不安を感じる人も多くいましたが、会議が進むうちに利用者、納税者の視点で当事者意識を持って考えるようになり、プール施設のことだけでなく津山市全体のことを本気で考え積極的に、かつ前向きな意見が飛び交い活発な議論になりました。

会議の中で最も多く意見の出たグラスハウスについては、指定管理料として年間約1億1千万円の税金がかかっていることを知り、今の運営方法を見直して、その代わりに子どもたちのために使ってほしいという意見が多く出ました。また、第3回会議にナビゲーターとして参加された熊谷哲さん（公益財団法人笹川スポーツ財団）から提起された『「誰のため」「何のため」のプールなのか』について、「子どものための最優先で、レジャーより子どもたちが水難事故に遭っても命を守ることでできるよう技術の向上を一番の目的にする」ことを会議の中で共有しました。

参加者アンケートの結果からもわかるように、この会議の満足度が非常に高いです。今後も、自分ごと化会議をはじめとして行政と市民が対話できる場が増えることが、さらに市民満足度の高い津山市になると感じています。

今回まとまった4つの提案を基にして、市としての結論を出していただきたいと思います。今回関わった私たちもできる限り今後も関わり続け、協力をしていきたいと思っています。これからの津山市の動きに期待をしています。

2020年2月
「津山自分ごと化会議」委員一同

2. 津山自分ごと化会議の概要

テーマ： プール施設のあり方について

主催： 津山市

協力： 構想日本

会議参加者

自分ごと化会議委員	・無作為抽出市民 35人*1 *1 住民基本台帳より無作為に選ばれた 1700人の中から応募のあった津山市民
コーディネーター	伊藤 伸 氏（構想日本 総括ディレクター）
ナビゲーター （第3回のみ）	専門家の立場で議論に刺激を与える役割 熊谷 哲 氏（公益財団法人笹川スポーツ財団 研究主幹/研究調査グループ長）

事務局

津山市	地域の現状や、テーマに関しての行政の取組みなどを説明する役割 総合企画部、財政部、学校教育部、生涯学習部
-----	---

各回会議概要：

日時	内容
第1回 2019年 11月 2日（土）	自分ごと化会議の概要説明（構想日本） テーマに関する説明（事務局） 委員の自己紹介 など
第2回 2019年 11月 23日（土）	テーマについて全体で議論 「改善提案シート」の記入 など
第3回 2019年 12月 21日（土）	「中間とりまとめ」・テーマについての議論 「改善提案シート」の記入、ナビゲーターの参加 など
第4回 2020年 1月 18日（土）	自分ごと化会議の意味の説明（構想日本） 「津山自分ごと化会議からの提案（案）」について議論 「意見提出シート」の記入 など

3. 「津山自分ごと化会議」からの 4つの提案

以下の4つの提案は、私たち津山自分ごと化会議委員がこれまで議論してきたことや「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

提案

1. 子どもたちにとっての必要性や財政的な観点など様々な角度から市営プールと学校プール双方のあり方を見直す。

提案

2. プール全体の見直しをするにあたっては、利用者の内訳や利用状況など、現状把握を重視する。

提案

3. グラスハウスについて、今のような運営は来年度いっぱいとし、その間に今後の活用について検討し、結論を出す。

提案

4. プールの見直しと併せて子どもたちが安心して遊べる場を中心としながら地域が元気になる環境の整備を検討する。

提案

1. 子どもたちにとっての必要性や財政的な観点など様々な角度から市営プールと学校プール双方のあり方を見直す。

「誰のため、何のためのプールが必要か」を考えると、子どもたちのためであり、(レジャーよりも)水泳技術が向上し命を守るためにプールが必要という意見がこの会議で多く出された。そのことを前提として、「津山市の子どもはみんな泳げること」を目標としながらプールのあり方を考える。具体的な方策は学校プールを減らして市営プールで授業を行うなど色々なパターンが考えられるので、中心的に使っている子どもたちの声をしっかりと聞きながら決定する。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民

- ① 健康を意識して市営プールを使用する回数を増やす。
- ② 学校プール開放時の運営体制に協力する。
- ③ 子どもの泳力を向上させるため、スイミングスクールへ通う。
- ④ 小学校の間に一定の泳力を身に付けられるよう努力する。

地域

- ① 学校プールを統合した場合は、各地域で送迎のためのバス停管理に協力する。
- ② 水泳の指導者を探す。
- ③ ボランティアで、出来る限りプールの修繕を行う。

行政

【施設】

- ① 学校プールも市営プールも改修が必要になるので廃止や競技用市民プールの建設も含めて検討する。
- ② 学校プールの整理を検討するにあたって、今後の改修経費等をきちんと試算する。また、ガラスハウスを廃止した費用を学校プールの整備に充てるなど、財源を考えながら検討する。
- ③ 学校プールを統合や廃止した場合、子どもたちの送迎について十分配慮する。
- ④ 「ごんごバス」の経路を変更し、市営プールや学校プールを利用しやすい環境を作る。

【機能】

- ① 子どもたちが楽しんで自らプールに触れられる環境を作る。
- ② 市内に民間プールがあることも様々な方向から広報する。
- ③ プール授業を行うにあたって、津山市として「すべての子どもが泳げること」に目標を定める。
- ④ 小・中・高生が意見を言える場を設置する。

《個別の意見》

■私たち市民

- 興味の合う友達と一緒に利用して周囲へ発信する。
- 学校プールは現行体制を維持できるよう働きかける。
- 親や祖父母が子ども、孫に指導する。
- 夏休み期間中の学校プールの監視当番に参加する。
- 佐倉市の例についてさらに調べてみる。
- 古式泳法を伝承する。

■地域

- 健康づくりのサークルを立ち上げてみんなで市営プールを利用する。

■行政

【施設】

- 全ての学校でプールを管理すると経費が高くなるので、統合や廃止を検討する。
- 小・中学校のプールは廃止し、授業はスイミングスクールに委託する。
- 小・中学校のプールは年間1～2ヶ月程度しか使わないので可能な限り廃止し、プールの授業は残したい学校のみが(PTA 会議等で決める)市営プールや民間プールの活用を検討する。
- 小学校プールは基本的に1校1プールの維持を検討する。
- 水との出会いは幼少期から幼保で経験しているので、学校プールは2・3校を集約して、集中的に行うことを検討する(さらに温水プールにできれば季節に関係なく授業できる)。
- 勝北・加茂の2施設は廃止を検討する。ただし、勝北・加茂地域の方には久米・グラスハウス行きのバスを出す(7～8月)。
- 久米は競技用として利用を増やし、温水プールなので冬季利用する。
- 勝北は夏のみ短期利用しかしていないので廃止し、他の利用方法を考える、加茂は修繕しながら維持し、夏のみ競技用として利用する。
- 久米や加茂、市内の民間プール等を授業で使用できる小学校のプール、中学校のプールは廃止を検討する。
- 子どもが使用しない時間帯に学校プールを一般に開放することを検討する(その際、利用料の徴収なども検討する)。

【機能】

- 学校プールにかかるコストを別の形で、未来を支える子どものためのお金にすることを検討する。
- 市営プールを高齢者の健康増進に利用しやすいよう改善する。

- 市営プールはなるべく値段を下げるなど行きやすい利用料を検討する。
- 水泳を楽しむために、授業では水で遊べる道具（水鉄砲等）の活用を検討する。
- オリンピアンや地元水泳部の選手など水泳の楽しさを伝えられる人を招いたり、水で遊べる道具を使ったりすることを検討する。

■その他

- 子どもたちの為だからと言ってなんでも残すことに疑問。学校開放など考え直してもよい（必ずしなければいけない事ではない）。
- プールにおける体作りや安全性を教える場所は「学校」でなければできないわけではない。大切な事は、泳ぐ力をつける事。

提案

2. プール全体の見直しをするにあたっては、利用者の内訳や利用状況など、現状把握を重視する。

見直しをするには現状の把握が重要だが、まだ不完全という意見がこの会議で出された。市民と市外から来る人の比率や、例えばレインボープールの中にある施設(プールやジムなど)ごとの利用状況や、アンケートによる実態の調査を行う必要がある。ただし、アンケート調査はあくまでも参考とした上で、今回の会議の議論やその他の検討を踏まえて結論を出す。

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民

- ① まずは興味を持ち、積極的に情報収集する。
- ② 市の財政について、今回の自分ごと化会議で聞いた話を周りの人に伝える。
- ③ 学校プール開放時に実際に行ってみて、現状を把握する。
- ④ 子どもが市営プールや学校プールについてどう感じているのか聞く。

地域

- ① 地域で学校プールについてアンケートを実施する。

行政

- ① 利用者の実人数や市民と市外から来る人の比率などの状況を調べる。
- ② 維持管理コストの低減に努める。
- ③ できる限り多くの情報を出した上で考えてもらうために、今回の会議で使った資料をQRコード(市HP、SNS)などで示した上で学校、保護者、児童等を対象としてアンケートを行う。アンケート結果は、市HPやSNS等で公開する。
- ④ 小中学校の教員のプール指導の負担等の課題を把握する。

《個別の意見》

■行政

- 認知度の向上のため、広報紙の掲載を大きくしたり SNS など様々な媒体を利用してPRする(どのような設備があるのかなど)。
- 市営プールの使用状況や市営プール・学校プールに投入されている税金額などの運営状況を広報紙や市HP、SNS等で積極的に情報発信する。
- 子どもたちが楽しいと思えるプールの授業を行っている学校や海外の先進的な取組みを研究する。

提案

3. グラスハウスについて、今のような運営は来年度いっぱいとし、その間に今後の活用方法について検討し、結論を出す。

現在、グラスハウスにかかっている税金(年間約 1.1 億円)はかかり過ぎているため、今のままの運営は困難だと思われる。2021 年 3 月末の指定管理期間終了に合わせて、廃止もしくは別用途への転用などを考える必要がある。今後の活用方法を検討するにあたっては「夢があり、楽しくなるような」を念頭に置く。2021 年 3 月末までに、今後の活用方法について結論を出す。

「提案 3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民	<ol style="list-style-type: none">① 自分なりにグラスハウスの存廃について再度考えてみる。② 利用してみて、グラスハウスの良さや魅力を SNS で PR したりインスタ映えを狙ってみる。
地域	<ol style="list-style-type: none">① 地域ボランティアでグラスハウス周辺の草刈りや掃除をする。② 廃止も含めて町内会等で意見を聞いてみる。
行政	<ol style="list-style-type: none">① 市の運営は困難なので、民間に経営を任せる(受けてくれる事業者を探す)。② 改修して水(プール)を使う場所を減らし、子どもたちが体を使って遊べる場所を増やしたり、体操の教室を開いたりするなどの工夫をする。③ グラスハウスを廃止や民間運営にした場合、グラスハウスの指定管理料を他のプールの整備や運営に使う。④ プールに変わるレジャー(例:サッカー場や子どもたちが楽しめる場)を検討する。⑤ ガラス張りや構造体の特徴を活かして、温室での農業や研究所、健康ランドなど様々な活用を検討する。

《個別の意見》

■私たち市民

- 利用してみることにしか方策はない。
- 近所の人を誘ってみる。
- 廃止等で使えなくなることを見越して、別のスイミングスクールやフィットネスを利用する。

■地域

- グラスハウスの利用者を増やせるように地域からも市の魅力として PR する。

■行政

【来年度の検討】

- グラスハウスの知名度を上げるためにネーミングライツの導入を検討する。
- 様々なイベントや自主事業を実施し、収入を増やす努力をする。
- 利用料金を上げる一方で、夏休み割引や子ども連れ割引といった訪れやすい料金も設定する。
- グラスハウスへの交通の利便性を上げて利用しやすい環境をつくる。
- 若年層や市外からの利用促進のために利用料を下げたり、JR との提携(キャンペーン)を検討する。
- 子どもにアンケートでグラスハウスの存廃を問う。また廃止の場合、代わりに何があればいいかを問う。
- SNS 発信やホームページの充実、広報紙など PR 方法の多様化を図る。

【グラスハウス廃止後の活用】

- レジャー施設としては廃止し、新たに健康福祉の為にプールを考える。
- 県北 NO.1 の観光客を集める目玉作りをして中途半端な施設にしないようにする。
- モデルケースや他の成功例を追いかけるのではなく、津山市の強みを押し出したものを考える（津山市にあるもので勝負する）。
- 様々な集客イベントを仕掛ける（津山市長杯など）。
- 廃止にする場合も廃墟にならないよう、後始末をしっかりと行う。

提案

4. プールの見直しと併せて子どもたちが安心して遊べる場を中心としながら地域が元気になる環境の整備を検討する。

子どもたちの遊び場が少ないことが当事者に近い若い世代から指摘された。提案 1. で様々な角度からプールの見直しをする際にプールだけでなく、遊び場を使う子どもたちや子育て世代が市内の遊び場に関してどのように考えているのかをしっかりと聞いたうえで、例えば廃止するプールの跡地に遊び場を設置するなど、「創る」ことも併せて検討していく。

「提案 4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民

- ① 子どものためのボランティアに参加する。
- ② 遊び場を確認してみる。
- ③ 楽しめる場所だけでなく、たとえば若い世代のコミュニティを作っていく（自分が作ります）。

地域

- ① 地域が学校と連携して、子どもの遊べる場を提供する(例：サイエンスフェア)。
- ② 遊び場のマップを作成して、見える化する。
- ③ 遊び場の草刈りや掃除をして環境を整える。
- ④ 地域全体で子育て世代をバックアップする。

行政

- ① 遊び場のマップを作るなど、遊び場の情報をこれまで以上に提供する。
- ② 公園の改修工事をする。
- ③ グラスハウスを子どものための場所に変えることを検討する。
- ④ 子どもや子育て世代の意見を聞くための会議を設置して、子どもの目から見た必要なものを考える。
- ⑤ 市内の体育館使用時（貸館）にボール等のレンタルや貸出を検討する。

《個別の意見》

■行政

- 鳥取市子どもの国の様な施設の設置を検討する。
- レジャー目的のプールは可能な限り廃止し、新たなプール施設の設置を検討する。

■その他

- 人口増加策や子どもの数を増やすための具体策、産業政策などを考える必要がある。
- 北陵中学校区は人も増え便利になっていると思うが、東中学校区は公園など外で遊べる場所が少なく不便なので、どこの学区も平均的に環境整備してほしい(遊べる場所が少ない)。
- 学校誘致を検討する必要がある。

4. 付録：アンケート結果

第4回津山自分ごと化会議 意見提出シートより

《参考》

▼今回の自分ごと化会議の提案書は、どのように活用してほしいですか？

- 積極的に発信して、市民や施設の利用者に色々な意見が出た事を知ってもらいたい。
- 市議会で共有して頂き、提案についても議題に取り上げてほしい。
- 広報紙に掲載したり、行政が学校や自治会へ説明会を開いてほしい。
- 提案に対する回答は公開して、市民がわかるようにしてほしい。
- 参加者からは津山の事を考えている意見が多く、津山だけでなく全国に向けて発信して、広がって行けば良いと思う。
- 短期・長期ビジョンを明確に持ってほしい。
- 既存施設をやめる勇気にこの提案書を活用して頂きたい。
- 税金の有意義な使い方をしてほしい。自分のお金なら大切に使おうと思うが、人から預かったお金だと使う時に雑になると思うので。

第1回津山自分ごと化会議 参加者アンケートまとめ

回収数：22枚

1. 津山自分ごと化会議に参加してみたいか？

とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	どちらともいえない	無回答
7人 (31.8%)	12人 (54.5%)	0人	0人	2人 (9.1%)	1人 (4.6%)

2. 会議に参加しようと思った理由は何ですか？

- みなさんが津山のことをよく考えていらっしゃることを知り、私自身も一員として教えていただきながら会に参加しようと思います。
- プールの事で少しでも話しを聞いて良くなればと思い。
- 仕事上、津山市内に居ないので市を少しでも知る為に。
- プール(市営)のあり方に気がかりがあったため。
- 地域のプールのあり方、小学校のプールの必要性など、色々な方の意見を聞き、経費の面など興味があったから。
- プールを通して、住んでいる市の現状を知りたいと思ったから。又、子育て世代の意見として役に立ちたかったから。
- 何ごとにも参加。
- 津山市を活性化したい。子供たちが安心して生活できるまちにして欲しい。
- 日頃お世話になっている。プール施設は重要な運動施設である。運動する場所の確保は生存権にかかわる重要な選択。市民の運動する機会や場所をどう確保するのかはとても大切。
- 修繕費が多額にかかる中で、運営の仕方について考えていきたい。健康管理を含めた事を考えた上で。
- 行政の方々との接点が必要と思ったから。
- 以前より市政に一般の人が参画出来るようになればよいと考えていたので、よい機会と思い参加させていただきました。よい取り組みだと思えます。
- 行財政改革推進室での取り組みを学びたいと思い参加させていただきました。
- 選ばれたので。知らなかった市の財政を知るきっかけになると思ったので。
- より良い津山を願い参加しました。
- 参加してまちづくりの役に立ってみようと思ったから。
- 何かできることがあったら…。市政のことを知りたい(無知なので)。これもご縁なので。
- 住んでいる地域に関心があったから。
- 現状の把握
- 興味本位。プール運営等について、知識を深める。

3. 本日の説明や資料は分かりやすかったですか？

とても分かりやすかった	分かりやすかった	分かりにくかった	とても分かりにくかった	どちらともいえない	未回答
5人 (22.7%)	14人 (63.7%)	0人	0人	3人 (13.6%)	0人

4. 市営プールや学校プールの中で、今年利用したプールはありますか？

ある	ない
10人 (45.5%)	12人 (54.5%)

▼あると答えた方→施設名

- グラスハウス 6人
- 高野小学校
- 勝北総合スポーツ公園プール
- 加茂町スポーツセンタープール
- 一宮小学校
- 北陵中学校
- 院庄小学校

5-1. これまで1度でも使ったことのあるプールはありますか？

グラスハウス	久米総合文化運動公園市民プール	勝北総合スポーツ公園プール	加茂町スポーツセンタープール	学校プール	無し
15人 /22人中	7人 /22人中	9人 /22人中	10人 /22人中	10人 /22人中	2人 /22人中

5-2. 上記で選択したプールを最も最近使ったのはいつですか？

回答数：16人

- 学校プール(小・中学校)を毎年。
- 先週(グラスハウスは今休み)、普通は週2～3回いきます
- 令和元年10月中旬頃
- 令和元年夏休み
- 令和元年8月に子供2人と利用致しました
- 令和元年8月 2人
- 令和元年7月29日(夏休み)
- 3年前
- 10年以上前
- 15年前

- 平成 16 年頃
- 約 17 年位前
- 20 年前
- 20～25 年前
- 直近ではないですが、若い頃子供と遊びに行った程度です

1 年以内	1 年～ 3 年以内	5～ 10 年以内	10 年以上前
8 人 (50.0%)	1 人 (6.2%)	0 人	7 人 (43.8%)

6. 市営プールの施設数について、現段階ではどのように感じていますか？

多い	少ない	適切	まだ何とも 言えない	その他	未回答
5 人 (22.7%)	2 人 (9.1%)	2 人 (9.1%)	11 人 (50.0%)	0 人	2 人 (9.1%)

▼選択した理由

- 少なければ、豊富なニーズに応えるプールになるといいですね。
- グラスハウスの維持が大変なら数を減らしても仕方ないかな？
- 運営上の問題を考えると何とも言えない。
- 市の規模から考えて、競泳用 1、レジャー用 1 くらいが上限だと思うから。
- 利用していないプールも多いから。
- グラスハウス、勝北は廃止。学校プールは JSS などを活用する。
- 生活の場に近い所がよい。
- 中身をもう少し勉強してからの判断となりますが、まずは何を主目的にするかによると思います(水泳技術向上なのか健康などの為なのか)。
- 集約化が必要とは思われますが…。
- 他の市町村の事例が分からないため。
- 市の中心にあつたら、子供ももっと行きやすいのでは…。

7. これからプールについて議論していく上で、知っておきたい情報があればご記入下さい。

- 小中学校のプールの授業など、集中して授業が可能であれば市営プールで代用できるのか？
- プールの運営が津山市税の何%を占めているか？
- 指定管理者について。
- 競技でなく、フィットネスとしてのプールのうち、もっとも安いプール建設の値段と維持費。
- 人件費を知りたい(自分達でできることならボランティアでもいいのでは)。
- 集約化となった場合に各小中学校からプールへの移動手段。
- 資料の 3. 学校プールの現状ページで「久米中学校はレインボープールを活用…」とありますが、実際に使ってみた生徒さんの声を聞きたいです(良かった点、悪かった点)。
- 地域(特に勝北、加茂の人たち)の意見も必要かと思えます。

- 民間プールの詳細、他の市町村の事例。
- 今までプール利用を増やすために、何かされたことはありますか？宣伝不足もあるのでは？
- 利用したことのないプールを知りたい。
- ランニングコストについて。

8. 現時点で市内のプールについて課題があるとすれば、どのようなことだと思えますか？

- シーズン外の使途
- 利用者数とコスト
- 経費面
- 利便性、維持管理
- コスト
- グラスハウスに25mプールは必要
- 雑菌処理などは大丈夫？
- 経年劣化対策(新規建設を推進の場合は特に必要)
- 少子高齢化で子供が減る未来に向けて、各小中学校にプールが必要かどうかと思うが、山間部の津山でも泳ぎを習得できる環境はあってほしいです。
- 老朽化対策、利用者増に向けた広報等
- 宣伝不足
- 利用人数が少ない為の課題
- 老朽化、維持費の高騰

9. その他、意見・感想等ありましたらご記入下さい。

- 幼少の子どもたちと共にしている中、レジャー施設が少ない若い世代の子育てができる津山市にしていきたいですね。よろしくお願いします。
- 参加できた事で意見がこんなにも様々な事におどろきました。良い方向性で話し合いができるが良いですが…。
- 子供のためのプールは必要と思います。
- 自己紹介がすごく良かったです。みなさんの意見を聞いて、お役に立てることがあればと思います。よろしくお願いします。
- プールを減らすとしても、他の施設でその代わりが務まるようにする。運動の機会をもっと多く増やすこと。今回の判断でどう市民が幸せになれるのか展望をきちんとつける。
- 伊藤コーディネーターは上手ですね
- 私にもできることあるのかな…。と思います。場違いだったかなとも。でもがんばります。これからです。

第2回津山自分ごと化会議 参加者アンケートまとめ

回収数：15枚

1. 津山自分ごと化会議に参加してみたいか？

とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	どちらともいえない	無回答
7人 (46.7%)	7人 (46.7%)	0人	0人	0人	1人 (6.6%)

2. 会議に参加しようと思った理由は何ですか？

- 職場や家族の意見を持ち寄って発言したいと思った。
- 津山で教員になりたいと思っていて、津山のことについて知りたいと思ったから。
- 税金の使われ方や色々な方の意見を聞いてみたかった。
- 選ばれたから。
- 興味本位。どんな話をされるのか聞いてみたかった。
- グラスハウスの存続について興味があった。
- これ以外にも津山の活性化につながることをしているから。
- ヨーロッパだと思いますが、市民やボランティアで行政や市運営している国があると聞いて、感動したので。
- 市の財政運営について学びたかった。
- 市のためになると思ったから。
- 前回は参加し興味を持ったから。
- 市内で色々な方の意見を聞きたいという興味があった。
- プール運営、税金の使い方に関する知識を深めるため。

3. 本日の説明や資料は分かりやすかったですか？

とても分かりやすかった	分かりやすかった	分かりにくかった	とても分かりにくかった	どちらともいえない	未回答
5人 (33.3%)	10人 (66.7%)	0人	0人	0人	0人

4-1. 本日の議論を踏まえて、現時点でガラスハウスをどうすべきだと感じますか？

今までどおり指定管理	市の直接管理に変更	民間事業者へ施設を譲渡	施設を廃止	その他	未回答
4人 (26.7%)	0人	5人 (33.3%)	4人 (26.7%)	2人 (13.3%)	0人

▼「その他」の回答

- 何ともいえない。
- 遮光して複合スポーツ施設にする(グリーンヒルズ全体で)。

4-2. 上記(4-1)を選択した理由

▼「今までどおり指定管理」を選択した理由

- 完全に譲渡するのはミズノの負担になりそう。津山市の補助で、レジャー施設にして魅力を増やしてからミズノに譲渡するとWinWinになるのかなと思ったから。
- 施設見直しの上継続。

▼「民間事業者に施設を譲渡」を選択した理由

- 市運営の施設としては、財政的に困難。民間事業者に譲渡。
- レジャー的要素が強いので…。その分で勝北の総合スポーツセンターの駐車場を増やして欲しい。
- 指定管理料1億円は高い。民間に任せたら何らかの方法を自分で考えるのでは。

▼「施設を廃止」を選択した理由

- 税金がかかりすぎているので、今のままだと廃止の方向になると思う。
- 2021年以降は施設利用方法について、公募(コンペ)する。
- 1億920万円/年の市税投入に至っている。
- グラスハウスの構造上、水道・光熱費を他の施設費にすることは無理と考えるため。

▼「その他」を選択した理由

- 何ともいえない
⇒具体的な効果のある集客努力はされていますか？
- 遮光して複合スポーツ施設にする(グリーンヒルズ全体で)。
⇒皆さんの意見を聞いて思ったから。

5. グラスハウスに求める機能は何ですか？

レジャー・娯楽性	競技大会・練習	健康づくり	体力維持	リラクゼーション・美容	子供の遊び場	その他	未回答
10人 /15人中	2人 /15人中	6人 /15人中	3人 /15人中	1人 /15人中	5人 /15人中	1人 /15人中	0人

▼「その他」の回答

- 廃止

6-1. 津山市では水泳が盛んだと思いますか？

とても盛ん	盛ん	あまり盛んではない	盛んではない	どちらともいえない	未回答
0人	4人 (26.7%)	4人 (26.7%)	1人 (6.6%)	6人 (40.0%)	0人

6-2. 選択した理由

▼「盛ん」を選択した理由

- 子どもは水遊びとは切り離せませんし、非常に大切なことだと思いますが、ガラスハウスはプール中心ではなく子どもたちの遊び場であってほしい。また民間事業者に渡してみると活性化するのではないのでしょうか？
- アイマーレはたくさん子どもから大人が利用している。大会等に参加している。
- スイミングスクールの生徒は多いように思います。
- 4、5歳児でも水泳教室に通っているお子さんがおられるから。

▼「あまり盛んではない」を選択した理由

- STY や JSS、ガラスハウスなどプールはたくさんあるが、水泳が盛んというイメージがあまりないから。
- スイミングに通っている話をあまり聞かない。
- あまり話題に出てこない。
- 以前に比べて、プール開放期間が少ない。

▼「盛んではない」を選択した理由

- 情報不足だが、新聞にのらないから。

▼「どちらともいえない」を選択した理由

- 水泳よりはサッカー。
- どちらとも言えないが、成人してから競技など水泳を続けているという人をあまり知らない。そういった意味では盛んではないのでは。
- 有名な選手輩出ができない。
- 大きな公認水泳大会の開催を聞いた事がない。
- 競技大会を見たことがないから。
- プール利用者数だけでは計れない。
- スイミングスクールの人口増減が分からない。

7. その他、意見・感想等ありましたらご記入下さい。

- 予想以上に議論が活発に行われていたので、本当に驚きました。参加できて嬉しかったし、良かったです。これからも津山の人だけでなく、津山の人ではない人にも津山の魅力を知ってもらいたいと思います。

- 個人としてガラスハウスはナシと思いますが、企業誘致などのときはレジャー施設、高校(各科)、大学など、まちの施設が充実していれば市としての売りになる。
- 津山が魅力あるまちづくりをして活気がある津山市になればよいと思う。
- ガラスハウスの老朽化が著しいと思います。スポーツ施設としての利用・学校誘致、ペットと過ごす施設(ドッグラン)など他の利用方法があれば良いと思います。
- 若年層に視点をあてて、そのためなら投資をしてほしい。行政や企業に！！
- いい勉強になります。
- 個人的な思い出は有るが、各市営プール、学校プールの集約化と新しく公認試合も開催できる市営プール(50mくらい)の必要性和新展開が必要と想定します。
- ガラスハウスはかつて県が県北のレジャーになると造ったのだが、構造がとても複雑で中はとても豪華なので内装グレードを落として改良してグリーンヒルズ全体で考えていこうと思った。
- 小学校のプールは泳げる子を育てないといけないので、本当に必要だと思うのでなくさないでほしい。中学校はなくてもいいのではと思う。授業で必要なら、市営を使ってもよいのでは。中学校なら自転車に乗って自分で行けるかも…。
- 配布資料の年表記を統一してほしい。(西暦に揃えるか、平成・令和に揃える)。市営プールの運営状況の金額に単位が無くわかりづらい。
いろいろな立場の人の意見が聞けたのはよかった。

第3回津山自分ごと化会議 参加者アンケートまとめ

回収数：20枚

1. 津山自分ごと化会議に参加してみていかがでしたか？

とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	どちらとも言えない	無回答
9人 (45.0%)	11人 (55.0%)	0人	0人	0人	0人

2. 本日のナビゲーター(熊谷 哲 氏)のお話を聞いて感じたことがあればご記入下さい。

- 分かりやすいデータとお話をありがとうございます。私たち津山市民として、考えていきたいと思いました。
- 全国の実態が大変参考になりました。
- 他の自治体の取組が参考になった。
- 津山の事だけしか分かりませんでした。他の情報を多く聞いて良かったと思います。ありがとうございました。
- 市民のために税金を使い、他の人のために税金を使う事、それを言い出すと市内で何も行う事ができないのでは？
- 疑問に思う事が簡潔にまとめてあり、話が分かりやすかった。全国のプールの取り組み方がよく分かった。
- 情報、データを集めた上での説明でとても理解できた。誰の為、何の為の運営するのかを決める必要性を特に理解した。
- とても分かりやすい内容で、イメージが入りやすかった。
- コストをかけて生まれてくる価値が印象に残りました。
- 途中からでしたが、良い話を聞かせていただきました。
- 奥深い講義だったので、なるほどと思った。自分の考えにまとまりが出来てきたとも思います。
- 各地方での各種プールの差異が認識できた。
- 日本全体のプール事情の詳細がよく分かった。
- 色々な方法があることを知れて良かった。習いごとの中で水泳の割合が多いので、泳げる子はプールに行けているんだと改めて感じた。
- 全国の公共プールの現状がよく理解出来た。
- 結局はその地域の行政の判断。その為の知識はいただけたと思う。
- 具体的に話されたのでとても分かりやすかった。考えさせられることも多くあった。
- プールの現状、他市の維持などについて分かりやすく説明して頂きありがとうございました。考え方が180度変わりました。

3. 4つの市営プール及び学校プールについて議論した中で、今の時点でどのような市営プールのあり方が良いと考えますか？

- グラスハウスに対して来年度は税金を使うことよりも子どもが楽しみにしている学校プールが必要。ですが、今温暖化が進んでいることから授業ができない日も増えている。また子どもが減ってきている地域は、市内中心部や一番近い学校(公共プール)などを利用してはどうかという思いもある(経費削減のため)。
- グラスハウスは来年度で廃止、他の3つや学校プールは改修をしながら継続。
- グラスハウスは廃止、もしくは大規模な建て替え。学校プールの自校式は廃止。他施設はまだ分からない。
- グラスハウスは、他の利用方法に変える。子どものためにプールは必要だが、市内に屋内プールが1つあればいい。
- グラスハウスと他の3つも残す。学校プールは可能な所のみ廃止。
- グラスハウスは廃止し、その他は改修しつつ残す。一部は減らす。
- グラスハウスは税金投入せずすむ設備に改造(例えば熱帯林を植えて(ジャングル公園)、研究、学力、見学に使用)。学校プールは税金を投入しても有効活用すべき。
- グラスハウスは閉鎖の方向、学校プールは統合の方向で移動手段は今後の課題。
- グラスハウスは廃止か縮小。他に子どもが遊べる施設をつくる。学校プールを継続するが中学校は廃止。小学校のプールを地域の人に入ってもらったらいいかも。
- 学校プールは廃止。プール授業が必要ならPTA会議等で話し合い。
- グラスハウス、勝北プールは近々廃止し、久米・加茂プールの良い面(競技用)を生かすべき。
- 市営プールはまだ残す。
- 期限を設けて利用者の増加や経費の削減に努めて、それでも成果が見られなければ利用者の少ないプールを廃止。コストがかかりすぎだとは思いますが、まだ運用の工夫ができるのではないかと思います。
- 改修するために大金を投入するのか新しくするために投入するのか、どちらを重点にするのでしょうか？
- 学校プールは改修しながら継続。特に小学校では必要。
- 子どもの為にプールは必要である。子どもの為にどこまで税金を使えるか。小中学校のプールを廃止し市営プールに移行していく事も考えてもよいと思う。コストを削減できるのであれば、民間に任せて学校の先生の負担を減らせればよいのでは？
- 市営プールについて、公認プールの国内一般プールA程度のプールを中学校区に1箇所設ける。
- 中学校のプールは廃止。市街地の小学校の授業は民間のプールで行う。レジャー目的なプールは市では管理しない。
- 市営プールは加茂、勝北を廃止。その地域の人々の為にグラスハウス、久米へのシャトルバスを期間限定で出す。(7月～9月くらい)

4. 最終回(第4回)に向けて、知りたい情報があればご記入ください。

- 若い方々の意見が知りたい。

- 佐倉市の方法について詳しくもっと知りたい。
- 最終決裁はやはり市長が決めるのですか？市民にアンケートなど取るのでしょうか？津山に住んで長いのですが、グラスハウスを残すときに賛成した覚えはないのに残ったので…。意見も聞かれなかったように思います。
- 集約プールに学校から行く場合のバス等のコストや時間数は実現可能なのか。また、子ども達の意見を聞きたい。
- 各種プールの建設費用。
- 津山市の2018年度のふるさと納税金額。
- スイミングスクールの利用人口推移。
- 小中学校の先生の意見。「プール利用に関する特徴的な改革手法」について
※生徒のアンケートは大変なので、先生へのアンケート。

5. その他、意見・感想等ありましたらご記入下さい。

- 中高生などの年代の参加があるとしっかりした意見をもっており、津山の今後随分参考になると思います。
- 現在、津山でも人と人との関係が持ちにくくなってきています。そのためにも子育て真っ最中の親子が出会い、つながりを持ちやすい場が必要です。
- 民間で出来る事と、行政が主体的に取り組む事業を今後は分けて考えるべきである。箱物を作るのであれば、後の維持費を考えて取り組んでほしい。
- 前は参加できませんでした。今回もまとまりのない話をしてしまいましたが、うまくまとめて下さいました。最後の1回にも参加したいと思います。宜しくお願いします。
- 何事も同じレベルで同一の人間を作ると考えると市、県、国は滅びてしまう。
- 子ども達にどこまで求めるかによるが、市民プールを新しく作って専門の指導者に指導してもらった方が技術は向上すると思う。ただ泳ぐだけでも民間に委託してもよいのでは？学校の先生の指導だけでは、おぼれない程度にしか水に慣れることができないので…。
- 会議参加者はすばらしいと思う。
- マイクの本数を増やして頂けないでしょうか。
- 加茂はプール集約化できると思うが勝北は学校が多いので難しいと思う。
- 色々な意見があるんだなあ…と思い勉強になりました。意見が初回と変わった人がいたり、私も考えが揺らいだりしました。人の意見を聞くことも大切なことですね。
- 小学校のプールですが、水が苦手な子は近くにプールがあることで触れられる機会がいいと思う。私も3年生くらいまで泳げなかったが、小学校のプールで友達に教えてもらい、泳げるようになった。プールの水が冷たいことはあまり関係ないかもしれない。
- 誰のための何のためのプールなのか？⇒子供のための泳力レベルをあげるためのプールにしてほしい。

第4回津山自分ごと化会議 参加者アンケートまとめ

回収数：22枚

1. あなたは、自分ごと化会議に参加する以前に、市役所とどの程度の関わりがありましたか。

ほとんど行ったことがなかった (たまに住民票を取りに行く程度)	年に数回は行っていた (職員とある程度話をする)	頻繁に行っていた	その他	未回答
12人 (54.6%)	5人 (22.7%)	5人 (22.7%)	0人	0人

2-1. 自分ごと化会議に参加してみて、いかがでしたか。

非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	未回答
8人 (36.4%)	13人 (59.1%)	1人 (4.5%)	0人	0人	0人

2-2. その理由

▼「非常に満足」「満足」を選択した理由

- 自分の意見が言えたから。これまで市に対して発信できる所がほとんどなかったから。
- 市政について、知らなかった事が分かり勉強になりました。
- 色々な世代、年代の方の意見、考えを聞く事ができる貴重な機会であった。
- 行政業務に関する事を市民も参加すべきと考えていた。
- 民主主義の啓蒙の為にやっているのかな？
- 色々な世代の方との交流ができる。自分のこととして深く考えることができる。
- 市政にまつわる、知識増につながった。
- いろいろ勉強になった。
- いろいろな意見を聞くことができた。市の財政のことが少しわかった。
- 津山市の直営・民営について、よく分かっていなかったが会議参加するごとに現状のことまで知ることができて良かった。
- 津山のことについて、角度を変えて知ることができたこと。新たな出会いがあり、関係性が広がった。
- さまざまな年代の方の意見が聞けてとても勉強になった。

- ナビゲーター熊谷さんの「誰のため」「なんのため」は強く印象に残った。
コーディネーター伊藤さんのわかりやすい説明、みんなを引きつける話術で緊張した時間を過ごさせていただきました。
- この会に参加しないと知り得なかった情報が得れた。色々な方の津山、プールについて考えが知れた。
- プールの現状、津山市の現状や他のプールの状況が分かったから。
- みなさんの意見を聞くことができ、参考になりました。
- ふだん考えも思いもしなかった事。いろいろな話を聞くことができた。
- 多様な情報を認識できた。

3. 今回のテーマ「プール施設のあり方について」は住民が考える内容として、どう思われますか。

とても良かった	まあまあ良かった	どちらとも言えない	あまり良くなかった	まったく良くなかった	その他	未回答
11人 (50%)	5人 (22.7%)	4人 (18.2%)	0人	0人	0人	2人 (9.1%)

4-1. 自分ごと化会議に参加したことで、意識に変化はありましたか。

変わった	変わっていない	わからない	未回答
18人 (81.9%)	2人 (9.1%)	1人 (4.5%)	1人 (4.5%)

4-2. 具体的に変わった点。

▼「変わった」を選択した理由

- 正直あまりプールのことはこれまで気にしてなかったが、プールから考える地域発展も大事だと感じた。
- 公費の使い方の多様性が必至だという事。
- 津山市で取りあげられている今回の様な問題について、積極的に関わっていきたいと思うようになった。
- 津山に対する思いが高まった。
- 市の行政のあり方に意識を持つようになった。
- 市政課題、地元課題に注視するようになった。
- 市政のことに興味をもって、新聞などを見るようになった
- 人ごとが自分に近いことだと思えるようになった。
- 津山のことを改めて考えられたことで、次の世代につなげていくための努力をしていきたいと思うことに変化がありました。
- 津山の税金の使い方など意識するようになった。
- この会に参加した方々は関心が高まったと思うが、参加していない多くの方々は無関心と思われる。

- 津山市の現状の問題を知って、これをみんなに伝えていこうと思ったこと。
- 市政について考えるようになった。市役所の方が思っていた以上に市について考えていた。
- 行政について関心が強くなった。
- 行政に対して他人事で考えないで自分だったらどうするか真剣に考える。
- 色々な人の意見を聞き、自分のまわりの現状だけでなく考え方を広げたいと思った。

5-1. 自分ごと化会議に参加したことで、行動に変化はありましたか。

変わった	これから 変える	変わって いない	わからない	未回答
8人 (36.4%)	10人 (45.5%)	2人 (9.1%)	1人 (4.5%)	1人 (4.5%)

5-2. 具体的に変わった点（変える点）

▼「変わった」を選択した理由

- 積極的に周りに聞いてみる（発信する）ことが増えた。
- 何事にも思いついたら行動しようという習慣がついたと思います。
- 行政や津山市の施設などを見る目に変化。津山の事を周囲に聞くようになった。
- 市税の投入先、投入額が気になる様になり、広報紙等にもよく目を通すようになった。
- このような会に参加させていただき、有難く思いました。津山の子どもたち、そしてその子どもたちが津山に帰り住みたいと思える。私たち津山のたからですね。
- 地元青年団の活動に注力するようになった。
- 今まで他人事だった事を自分ごとにする様になった。

▼「これから変える」を選択した理由

- 家族だけでなく、地域や学校へ発信していきたい。
- 周りの人とともに津山市に関する話をしてみる。
- 社会参加の機会を増やすよう努力します。
- 広報を見るだけでなく議会の傍聴を試みたいと思いました。大切な税金の使い方やその他の事ももっと聞いてみたいです。
- 町内会に問題提起する。
- 市民として考えて出来る事をしていきたい。

▼「わからない」を選択した理由

- 津山のプールについての知識を周囲の人にひけらかした。

6. 今回の自分ごと化会議のように、無作為抽出の手法を使って議論していくやり方についてどう思いますか。

必要だと思う	必要だと思わない	どちらとも言えない	未回答
20人 (90.9%)	0人	0人	2人 (9.1%)

7. 今後、市民同士で、市の重要課題について議論・意見交換し、市へ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。

思う	思わない	どちらとも言えない	未回答
19人 (86.4%)	1人 (4.5%)	0人	2人 (9.1%)

8. その他、全体を通じた感想やコメントをご記入ください。

- プールだけでなく、いろいろな立場からの話ができてよかった。でも、これからは若者の意見が大事なので、もう少し学生を増やしてほしい。
- コーディネーターが上手にまとめられ、スムーズに進んでいたと思います。参加者の津山に対する思いが伝わり、仲間意識が高まった。
- 異年齢なのが良かったです。市民が話したいことを調べ、会議を開いてもいいのかなと思いました。津山のことが深く知れて良かったです。
- コーディネーターの伊藤さんがすばらしい方であった。
- 行政中心ではなく市民中心の町作りを目指して明るい津山市になってくれたらいいなと思います。住みやすい津山市になれば、自然に人口は増えると思います。
- いい勉強になりました。ありがとうございました。
- 津山にはいろんな問題があるので、「自分ごと化会議」ではなく、他のテーマの住民参加型会議をやってもらいたい。
- 令和2年度までグラスハウスは運用されるとのことなので、今年の夏は地元の学生には無料の招待券を配布してはどうでしょうか？
- みんなの思いは子供のまま。そのためには学業の中でのプールは残してほしい。

9. 選挙の投票に行きますか。

必ず行っている	だいたい行っている	ほとんど行かない	行ったことがない	未回答
17人 (77.3%)	1人 (4.5%)	2人 (9.1%)	0人	2人 (9.1%)

10. 津山市をより住みやすくするために、特に誰が主体的に行動することが必要だと思いますか。

住民 ひとりひとり	地域全体 (自治会/町内会 含む)	地域の行政 (役所)	地域の政治 (議会)	国の行政 (政府)
10人 (45.5%)	7人 (31.8%)	2人 (9.1%)	1人 (4.5%)	0人
国政	その他	未回答		
0人	0人	2人 (9.1%)		

「津山自分ごと化会議」会議参加者

＜津山自分ごと化会議委員＞

有富 裕子	池田 昭彦	今井 弘之	内田 久士	小椋 葉月
小畑 慎二	川口裕貴子	神田 浩一	日下 恵介	木暮 朋佳
下山 千穂	下山 益資	竹内 裕二	谷口 雪子	土居 正和
徳永 直之	西村くるみ	福島 翔吾	福田 律夫	藤井 栄次
眞木 健一	眞木 陽介	丸尾美智子	森 修一	森本 遼太
矢内 秀明	横林 好重			
他 8 人				

- ※ 1 名前の公表に、承諾された方のみ掲載しています。 (五十音順、敬称略)
- ※ 2 会議委員は全体で 35 人。住民基本台帳から無作為に選ばれた 1700 人に会議への参加案内を送付し、応募があった津山市民。

構想日本

＜コーディネーター＞

- ・伊藤 伸 (構想日本 総括ディレクター)

＜ナビゲーター＞

【第 3 回】

- ・熊谷 哲 (公益財団法人笹川スポーツ財団 研究主幹/研究調査グループ長)